

補助金額

人槽区分	国庫補助対象※ ¹	市単独補助対象※ ²
5人	332,000円	110,000円
7人	414,000円	138,000円
10人	548,000円	182,000円

※国庫補助の対象で、専用住宅を建て替えず既設の単独処理浄化槽を撤去し合併処理浄化槽を設置する場合、別途最大90,000円の撤去費、最大200,000円の宅内配管工事費を補助。

補助します

合併処理浄化槽の設置費

クリーン推進課・☎②2142

補助対象 同設備を個人の専用住宅に設置する方

※消費電力が低減されているなどの要件を満たしている、市が指定した浄化槽が対象です。

※未着工のものに限ります。

申請 まずは、同課にご相談ください

※1 国庫補助対象…公共下水道、農業集落排水の計画区域を除いた区域で要件を満たす場合

※2 市単独補助対象…公共下水道の計画区域で、その供用が年度内に始まらない区域で要件を満たす場合

姉妹都市・友好都市との

自主交流団体に奨励金

市民生活課・☎②2154

姉妹都市・友好都市を訪問し、現地市民と教育、芸術文化、スポーツ、産業などで交流事業を行う団体に奨励金を交付します。

▼鎌倉市(姉妹都市)

対象 市内に在住か通勤、通学している方の参加(小学生以上)が10人以上あり、鎌倉市の団体との交流を目的とした宿泊を伴う訪問であること

奨励金額 1人1500円

※1 団体につき年1回まで。予算額を超えた場合は交付できないことがあります。

▼中国山東省済寧市(友好都市)

▼米国イリノイ州スプリング

ファイールド市(姉妹都市)

対象 市内での活動実績が1年以上ある団体に訪問人員が5人以上あり、当該都市での交流のための滞在が1泊以上の自主的な計画がある団体

奨励金額(1団体あたり)

▽済寧市 20万円以内

▽スプリングファイールド市

40万円以内

募集団数 各都市1団体

※同一都市、同一団体につき1度限りです。

申込 鎌倉市は出発の2カ月前から2週間前までに、海外都市は出発の2カ月前までに必要書類を同課(本庁舎1階)

※申請書は同課または市ホームページで入手可。



入札参加資格審査

申請の随時受付

契約検査課・☎②2119

対象 市が発注する小規模工事、物品購入、業務委託などの入札参加を希望する方

申込 必要書類を〒326-

8601足利市役所契約検査課あて郵送または持参(本庁舎4階)

※詳しくは同課または市ホームページでご確認ください。

無人ヘリコプターによる
農薬散布を行います

JA足利営農振興課・☎②4433

- ▶4月21日(火)~23日(木)
毛野、富田、久野、筑波、矢場川、御厨、梁田、三和
 - ▶5月7日(木)・8日(金)
毛野、名草、富田、久野、筑波、矢場川、御厨、梁田
- ※いずれも午前5時~正午。

土砂災害防止のための

現地調査にご協力を

安足土木事務所・☎④4119

県が発行する身分証明書を携つ委託業者が、住宅などの敷地内に立ち入ることがあります。

調査期間 10月末まで

調査区域 市内全域

委託業者・連絡先

▽国土防災技術㈱

☎028・638・5277

免除します

開発許可などの手数料

都市計画課・☎②2168

対象 台風第19号でり災証明書

『足利の藍染』を現代の暮らしに
栃木県伝統工芸士 風間 幸造さん



「藍染めは日本人の心の原点」と話すのは、天然の藍染めを行う風間さん。昨年11月、高度な伝統技術の保持者として栃木県伝統工芸士に認定されました。

祖父の代から続く着物の型染め業を若い頃から手伝ってきた風間さん。33歳の時、家業をやめることになったのを機に市内の藍染め工房で働くことに。家業では化学染料を使っていましたが、天然染料を使う藍染めに魅力を感じたそうです。そこで一から技法を学び、2011年に自身の工房『藍紹座』を開きました。



▲名草で藍染め体験をした高校生たちと

手がけるのは、藍の葉を発酵させた『すくも』で作る染め液を使い、微生物の力を借りて染める天然藍染め。

天然藍には殺菌作用があり、江戸時代の野良着には虫よけに藍染めが使われ、近年では藍染めの肌着でアトピーが改善した例もあるそうです。

天然藍染めの魅力は「素材すべてが自然のものであること」。身近なものとして使って、良さを実感してほしいと始めた藍染め講習会には、外国人観光客も多く参加しています。天然の素材であれば何でも染まり、なかには金色の髪を藍色に染めた方もいるそうです。

1000年以上前から日本人の生活の中にあつた藍染め。「庶民のために工芸品があり、日常的に使われてきた。それが日本の工芸品のすごいところ」と風間さん。脈々と受け継がれてきた日本文化を足利の地から発信しています。

を発行された方

免除する期間 令和3年10月11

日(月)まで

申請方法 免除申請書、り災証明書を持って同課(本庁舎5階)

※免除申請書は、同課または市ホームページで入手可。

ご注意ください
銃器によるカワウの駆除

渡良瀬漁業協同組合

☎012361

増えすぎたカ

ワウによる食害

を防ぐため、銃

器による駆除を

行いますのでご

注意ください。

実施日時 7月14日(火)まで/日

の頃から正午までを予定

実施場所

▽渡良瀬川 桐生川合流点から

高橋大橋まで

※蓮傍寺川水門から足利自動車教習所前を除く。

▽桐生川 大前葉鹿用水堰から

渡良瀬川合流点まで

▽旗川 高田橋から渡良瀬川合流点まで



開発行為の許可に係る

技術基準の緩和

都市計画課・☎202168

『足利市開発行為の許可に係る技術的基準に関する条例』を制定し、同基準を緩和しました。
内容 1ヘクタール未満の開発区域であれば公園などの設置義務を免除

優良運転者を表彰します

交通安全協会・☎1120

内容 左表のとおり

表彰の種類	免許取得期間
40年表彰	昭和55年3月31日以前
30年表彰	平成元年4月1日 ～平成2年3月31日
20年表彰	平成11年4月1日 ～12年3月31日
15年表彰	平成16年4月1日 ～17年3月31日
10年表彰	平成21年4月1日 ～22年3月31日
5年表彰	平成26年4月1日 ～27年3月31日

申込 4月20日(月)以降に申請した運転記録証明書(5年間)、運転免許証のコピーを6月5日(金)までに地元の交通安全協会支部長か担当者へ提出